

## 「解題」

2018年4月27日

### 第8回 解題

委員の皆様におかれましては、以下を萩大島船団丸代表取締役坪内知佳さんにお聞きしたいと考えております。委員会での委員各位のご発言に際し、ご参考にされたい。

一般に、漁獲対象とする資源と漁業経営の持続性（利益を継続的に上げること）が重要であるが、萩大島船団丸の経営に際しては

- ① 漁協の共販の枠組みを超えて、独自のチャンネルで精力的に漁獲物の販売に努められてきたが、この取り組みがどのように、どの程度収入の増加と収益の向上に貢献したとお考えですか？  
また、ご自身のご経験から漁協の販売面での取り組みを含め、漁協の問題点と改善点についてお伺いしたい。
- ② 漁業にとっては漁獲対象とする漁業資源の状況が重要であるが、萩大島船団丸が漁獲対象とする漁業資源は近年減少していると考えられる。ご自身は漁獲がさらに減少したら、もっと高く販売すると言われるが、これには当然限界があるし、極端な場合漁獲資源がなくなる。この資源の状況とその問題や資源管理に関して、これまでの取り組みを通じて、どのようにお考えかをお伺いしたい。
- ③ 代表取締役坪内知佳さんは、漁業への補助金が漁業をだめにした、衰退に導いたとお考えですが、具体的にお話をお伺いできればと思います。